

平成 15 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ カ ラ
代表者名 代表取締役社長 佐 藤 慶 太
(コード番号 7969 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員財務部長 久 保 亮 三
(0 3 - 3 6 0 3 - 2 1 3 4)

資本業務提携基本合意および代表取締役の異動に関するお知らせ

この度、株式会社タカラ（代表取締役社長：佐藤慶太／所在地：東京都葛飾区 以下タカラ）は、株式会社アトラス（代表取締役社長：岩田松雄／所在地：東京都新宿区 以下アトラス）の株式取得を行うことを前提に業務提携による両社の業績拡大に向けた具体的協議を始めることに基本合意しました。

株式取得について

タカラは 4 月中旬までを目途に、以下の株式を譲り受け、アトラスの発行済み株式のうち 30.2% を取得する予定です。

【株式取得の対象となる会社】

会社名：株式会社アトラス（JASDAQコード 7866）

本社所在地：東京都新宿区神楽坂 4 - 8

設立：昭和 61 年 4 月 7 日

資本金：80 億 6,920 万円

代表取締役社長：岩田 松雄

主な事業：

家庭用ゲーム関連事業 家庭用ゲームソフトの開発・販売

業務用ゲーム関連事業 シールプリント機など業務用ゲーム機器製造販売

アミューズメント施設関連事業 直営店舗、FC 店舗運営

【株式の取得先】

・ アトラス保有自己株式	2,000 千株
・ 株式会社シーエヌ開発	350 千株
・ 原野直也氏（アトラス取締役会長）	1,370 千株
合計	3,720 千株

【株式の取得価格】

1 株あたり 524 円（3 月 26 日から遡る直前 1 ヶ月の JASDAQ 市場終値平均）

なお、今後両社の業務提携の具体化、資本提携の効果を計りつつ、協議のうえより密接な関係構築を目的とした資本関係強化を進めていく方針についても合意しております。

業務提携のねらい

玩具を中核としたライフエンターテインメント企業を目指すタカラは、中期経営計画において「オリジナルコンテンツ創出」の仕組みをグループ企業、アライアンスパートナーと共に強化する方針を掲げております。その中でもテレビゲームから生まれる優良なキャラクターコンテンツは世界に通用する可能性が高く、タカラのコンシューマーソフト(CS)事業から生まれるコンテンツの幅広いエンターテインメント分野への展開は重要な経営課題でありました。

「真・女神転生」シリーズに代表されるCS事業、「プリクラ」に代表されるアミューズメント機器開発・販売事業、直営店展開によるアミューズメント事業を展開するアトラスとは両社の事業領域と独創的な商品・サービスの企画開発力において、事業上の相乗効果が大いに期待できると判断、今回お互いの経営ビジョン、目指すべき方向性における考え方の一致を確認し、業務資本提携の合意に至りました。

今後はタカラのCS事業およびタカラ子会社でアミューズメント事業を手がける株式会社タカラアミューズメントの事業統合も将来視野に入れ、オリジナルコンテンツを活かした新事業開発とともに提携の具体化に取り組んでまいります。

具体的な業務提携の内容については、今後横断的なプロジェクトチームを編成するなどして協議検討してまいります。従来よりアトラスの主要株主である株式会社角川書店を加えた経営資源の有効活用によるCS事業の海外展開、メディアミックスを取り込んだ新事業の策定、映像事業などへも取り組んでいく方針について合意しております。

取締役について

6月開催予定の両社定時株主総会および取締役会の承認決議をもって、次の役員人事を予定しております。

< 現任 >		< 就任予定 >	
アトラス取締役会長	原野 直也	タカラ取締役(非常勤)	(アトラス代表取締役会長)
アトラス代表取締役社長	岩田 松雄	タカラ取締役	(アトラス取締役退任)
タカラ代表取締役社長	佐藤 慶太	アトラス取締役(非常勤)	(タカラ代表取締役(現任))
タカラ代表取締役副社長	奥出 信行	アトラス代表取締役社長	(タカラ取締役(非常勤))

業績に与える影響

2004年3月期タカラの連結決算において、アトラスは持分法適用関連会社となる予定です。

具体的な業績見通しについては、今後作成の業務提携計画によって検討していくことを予定しています。

以上